

令和3年8月3日

保護者 様

北海道小樽未来創造高等学校長

河 田 章 宏

「まん延防止等重点措置」を踏まえた学校における新型コロナウイルス感染症対策
について（お知らせ）

立秋の候 保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、この度、国により「まん延防止等重点措置」を実施すべき区域として北海道が指定され、道は札幌市において新型コロナウイルスのまん延を防止するために必要な措置を実施する旨決定しました。

つきましては、お盆のシーズンを迎え、旅行や帰省など人の往来が活発化する中、人と人との接触機会を抑え、感染拡大を防止するため、次の点に特に留意し、新型コロナウイルス感染症対策の徹底をお願いします。

今後の感染状況に応じた対策について、変更になった場合は、改めてご連絡いたします。

記

- 1 手洗い・マスクの着用など、基本的な感染症対策を徹底すること。
- 2 発熱の有無にかかわらず、生徒及び同居家族に風邪症状がある場合は、症状がなくなるまで自宅で休養すること。
- 3 生徒及び同居家族の健康観察の結果を適宜把握するとともに、発熱の有無にかかわらず風邪症状等が見られる場合は、症状がなくなるまで登校（部活動、補習、インターンシップ、就職活動に伴う活動等）させないこと。
- 4 部活動等の更衣時など、生徒がマスクを外す場面では、身体的距離を取り、会話をしないようにすること。また、水分補給用のボトルやタオルを共有しないこと。
- 5 部活動後の会食は控え、速やかに帰宅すること。
- 6 札幌市内（石狩管内）における合宿など泊を伴う活動や対外試合等は、自粛すること。
- 7 全道大会及び全国大会の参加については、大会参加前直近2週間分の健康観察（体温・体調・行動等）について、健康観察シートに記入し、大会期間中も引き続き行うこと。また、大会が終了し、帰着後3日間学校への登校を控えること。
- 8 生徒が感染症等について正しく理解し、学校内外を問わず、適切な行動をとること。
- 9 感染症を予防するには、身体全体の抵抗力を高めるため、適度な運動、バランスの取れた食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが有効であること。
- 10 マスクの着用については、顔にフィットしているマスクを選ぶこと。なお、マスクの素材によって効果が異なることに留意するとともに、布マスクは1日1回洗濯をすること。
- 11 食事の前後の手洗いを徹底するとともに、食事の際は飛沫を飛ばさないよう大声での会話を控える、食事後の歓談時にはマスクを着用すること。
- 12 感染者、濃厚接触者等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別を行わないこと。また、ワクチン接種については、身体的な理由や様々な理由によって接種することができない人や接種を望まない人もいることに十分留意すること。
- 13 札幌市との不要不急の往来は控えること。
- 14 今後の感染の状況によって、この対応が変更される場合があることから、定期的にホームページの確認をお願いします。

【ホームページアドレス】 <http://www.miraisouzou.hokkaido-c.ed.jp/>

【QRコード】

